

勝林寺報



## 千人風呂のはなし

今は独り身になつた気安さから、思いつい  
たときにフライリと一人旅に出掛けます。

福祉ボランティアの老女

春まだ早い三月半ば、何度も行きなれた所  
ですが、なんとなくこころ誘われて、奈良東  
大寺へお参りしてまいりました。  
あの壮大な建物も、また大仏殿の中におわ  
します巨大なビルシャナ仏像も、わたし  
には全く威圧を与えないで、優しく大きく包  
み迎え取つて下さいます。いつもお参りしても  
そのようで静かな安心がいただけます。そ  
の一つの理由は、ここにお参りすると光明皇  
后さまにおあいできるからだと思います。

この大仏を開眼なさつた聖武天皇のおきさ  
きであられた光明皇后さまは、今で言う福祉  
活動の世界的先駆者でございます。  
ほとけさまの教えのなかで、病人や孤児や  
貧困なひとびとの幸せのために、悲田院・施  
薬院などという福祉施設を建てられたとい  
うことです。

その当時よく読まれた「梵網經（ぼんのうきょう）」  
というお経のなかにあることば  
「ここらだを病んでるすべての人びと  
を、ちょうどほとけさまにお仕えするように  
供養しなさい。真のほとけ、本当の幸せは、  
看病というしあわせの苗をそだてる田圃（福  
田）から育つのだよ」

光明皇后さまは、千人風呂の病人看護の中  
で、貴い仏様と出会い、またみずからも觀音  
菩薩さまになつていらつしやつたのでしょ  
う。

光明皇后さまは、大薬草風呂にたくさんの  
病人を入れ、重病人のからだから出る膿（ウ  
ミ）みをお口ですすって差し上げなさつたと  
か。

おひさしぶりにビルシャナ大仏さまをあお  
ぎみながら、天平の福祉のこころを思うにつ  
けて、今日のわたしたちの福祉のこころが  
省みさせていただきました。

おひさしぶりにビルシャナ大仏さまをあお  
ぎみながら、天平の福祉のこころを思うにつ  
けて、今日のわたしたちの福祉のこころが  
省みさせていただきました。

おひさしぶりにビルシャナ大仏さまをあお  
ぎみながら、天平の福祉のこころを思うにつ  
けて、今日のわたしたちの福祉のこころが  
省みさせていただきました。

わたしの生まれ育った所は米軍基地のある  
町で、白人、黒人、中国や韓国人達が、町  
の中で自然に暮らしていました。学校にはど  
のクラスにも二世の人達が何人かいて、子供  
の私はそれが当たり前の中だったよう  
に思いました。

大人になるにつれて私たち、男・女・肌の  
色の違い、民族の違い、あるいは障害のある  
なし、そんなところで分別し区別し、あるい  
は差別してしまうのです。

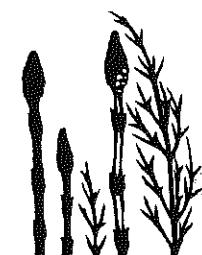
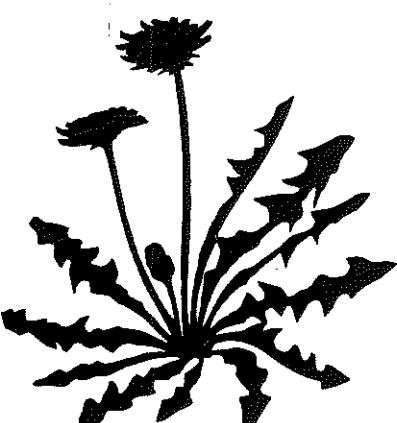
なんと悲しいことではありませんか。

いろいろな違い。そういうものを全部引つ  
くらめて、多様なものがそれぞれに多様に輝  
いて社会をつくっているという自然な事実を、  
この子供のように肌で感じあえるそんな自然  
な社会であつてほしいと願わざにはおれません。

## 多様に輝いて自然に

『はこべの家』共同作業所々長

宮下 典子



## 四月のことよみ

四日 中島明美氏宅仏壇入仏式  
五日 田中和子氏宅法事

長專寺住職継職法要

福知山蓮正寺永代経法座

九日 日高町

十一日 山田正直氏宅法事

十三日 出石組組会（西宗寺）

十五日 藤本正美氏宅法事

十七日 山田正直氏宅法事

十九日 藤本勉氏宅法事

二十日 D S 交流会

二十一日 朗読ボランティアあすなろ編集  
連研打ち合わせ会（正福寺）

二十二日 全国大会打ち合わせ会

二十三日 出石町

二十六日みのりを聞く会定例法座

二十八日あすなろ録音

二十九日『連研』第一回（勝林寺）



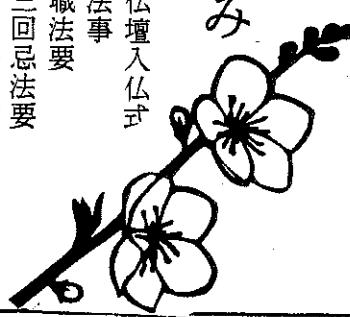
## 葬儀

三月二十五日 正法寺

数森

九十三歳

日々の暮らしのなかで覚えたそんな父と娘  
との関係は、とても無理のない自然なもの  
のようにみえます。



仮会長 永井孝一郎

前回(十四年九月号)に寄稿した、廢材で建てた藤棚について、その後のことと報告したいと思います。

今年は特に長い冬がありました。  
ですが、よくいつたものであります。

「冬来たりなば、春遠うからじ」

昨年それぞれに思いをこめて廢材利用の藤棚に植えつけた

藤・アケビ・ぶどう・朝顔・へちま種別の違うそれぞれが、それぞれのいのちの中に、どんな花、どんな果実と、次への思いをはぐくんで、寒風の中で耐え、積雪のなかで待ち侘びていたのでしょうか。

今朝(三月十七日)。藤棚をのぞいてみたら、昨年、最初に植え付けた藤とアケビの芽が、すでにだいぶ大きくなっていた。去年の秋、山でみつけて、もう遅いかなと案じながら添え植えした古い大きなアケビの木にも、恐る恐る目をこらしてみると、心なしかあちこち芽のようなふくらみもある。山奥から、しかも季節におくれて、余計なことをして枯れてしまったら可哀想にと心配していただけに、ぱっと一安心である。今年だめだったら来年があるさと、次に望みをかけて生きて行くそんな生活もあっていいのだとそんなことを考えた。

互いに一度しかない人生を生きています。互いにその人独特の生き方で生きています。藤であつたりアケビであつたり

ぶどう、朝顔、へちまであつたり

それらが一つの藤棚で。

これが「御同朋」の世界だと思いました。

今年こうなら、来年をと話し合いの場を少しでも多くもちませんか。

出石組という藤棚のうえにいろいろなすばらしい花や実をつける夢をみませんか。

出石組の「御同朋総結集大会」は  
八月二十四日です。

## 『連研』ということ

『連研』とは、「門徒推進員養成連続研修」の略語です。

淨土真宗という宗教の集まりは、「同明教団」といって、上下なく、みんなで共に「いのち」を共歎することを特徴にします。ところが長い歴史のなかで、いつしか仲間のなかに、専門の分担分野ができてきました、たとえば難しい教義を研究したり教えたりする「学匠」といわれるお坊さん。「説教使」とよばれる芸能者の布教専門家。教える人と聞く人。お寺さんと門徒。という具合に、本来同じ仲間のなかに役割分担ができ、対立や差別さえも生まれてきました。

四海のうちみな兄弟だよ  
同じ念仏(本願・よびごえ)のなかに、別別の道があるはずはないんだよ。

わたしが、仲間作りの核。教団の主人公。

もう一度始めにかえって、仲間同士、おしゃを聞き直していきましょう。

出石組では、昭和五十年ごろから連續してこの研修にとりくんできました。  
今回は十三期です。(一期二年)

玉井 克彌氏(出石)  
斎藤 節夫氏(八鹿)  
田中 嘉信氏(八鹿)  
藤田志げ子氏(片間)

## 《御旅行日程表》

◆ご旅行期間平成15年 6月21日(土)~ 6月22日(日) (1泊2日)◆

日次	スケジュール	宿泊・食事場所
6/21 (土)	出石(勝林寺) ===== 登尾トンネル ===== 福知山 ==== 6:00頃 7:00 =====《国道9号》===== やまとたや === 丹波ic ==== 7:50【休】8:00 ==《京都縦貫道》== 背掛ic == 京都本山・西本願寺 ==== 8:50 9:30 10:00 === 西大谷廟(納骨堂) === 京都南ic ===== 10:20 10:50 ===《名神道》== 吹田jct ===== 名塩SA ===== 12:10【弁当】12:20 ===《中国道》== 落合jct ===== 千代田jct ===== 14:20 16:20 ===《浜田自動車道》== 浜田ic === 温泉津温泉(泊)▲ 17:30 18:00頃	のがわや旅館 08556-5-2811
6/22 (日)	お宿 ====== 瑞泉寺 ====== 松江 ====== 8:00 8:15 9:00 11:00 ===== 大根島 ===== 境港【海産物ショッピング】 == 12:00【昼食・見学】13:30 14:00 14:30 =====《国道9号線》===== 鳥取 ===== 八鹿 ==== 17:30 ===== 出石(勝林寺) 20:00頃	

◎昨年末から今春にかけて多くの方々が亡くなられました。例年、研修旅行のおりにご遺族ともども大谷本廟へ納骨いたします。

◎参加費 男(3万2千円) 女(3万円)

◎後日配布の申し込み書によりおしらせ下さい。

◇今年は前坊守さまの13回忌のでた。すこし遠距離ですが、奥様のふスキャトを訪ねたいと計画しました。

## 春の研修会 観桜会

いわばしる たるみのうえの  
さ蕨(わらび)の  
萌えいする春に  
なりにけるかも  
(志貴皇子)  
  
人間の欲望がぶっかりあい 人が殺され 自然破壊が進んでいくこの時代であればあるほど 野山におとずれる春の芽吹きに歓びふるえるわたしたちです。  
まして如来大悲にはぐくまれているわたしたち  
慈光はるかに かぶらしめ  
光のいたるところには 法喜をうとぞ のべたもう  
大安慰を 帰命せよ (浄土和讃)



## 春の研修会 観桜会ご案内 第一回 四月十九日(日) 午後二時開始 勝林寺本堂 男女老少だれでも参加歓迎

### 【第一部】研修懇親会

会費

男(1500円)

女(1300円)

五時受付・お勤め・法話

七時懇親会

午後二時開始  
勝林寺本堂  
男女老少だれでも参加歓迎

☆代議員を通して申し込んで下さい。  
(申し込み用紙後日配布)